FORUM
プレイスメイキング［連続座談会］

各回とも
先着30名（予定）
［入場無料］

9月-10月に計3回、連続座談会を開催します。
シンポジウムのパネリストに、
各座談会のモデレーターを務めていただき、
専門分野やアプローチが異なる多様な専門家を交えた、
熱い議論が行われます。

Vol.1_9.3(WED) 13:30-15:00［開場 13:00］

「ストック活用時代のリノベーションまちづくり」
@ 3331 Arts Chiyoda コミュニティスペース

西村 浩氏×清水義次氏×松井直人氏
㈲ワークヴィジョンズ代表　㈲アフタヌーンソサエティ代表　三菱地所㈱ 顧問

公共空間を自由に使用したり、商売できるようにする仕組みに挑戦する佐賀の「わいわい!!コンテナ」。自立できる維持管理財源の確保に取り組むなど「佐賀ルール」ができつつある。

「歩行者空間の価値が上がると
土地の価値・地域の価値が上がる。
公共空間の利用を制限する
禁止マークを禁止にすればよい。」

»清水義次氏

しみずよしつぐ_㈲アフタヌーンソサエティ代表取締役、建築・都市・地域再生プロデューサー、東洋大学大学院公民連携専攻客員教授。1949年山梨県生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業後、コンサルタント会社を経て1992年（株）アフタヌーンソサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした地区のプロデュース・プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュースを行う。3331 Arts Chiyoda、北九州市小倉家守プロジェクト、岩手県紫波町オガールプロジェクトなどをプロデュース。著書に『リノベーションまちづくり』など。

»松井直人氏

まついなおひと_三菱地所㈱顧問。北海道函館市出身。北海道大学大学院工学研究科土木工学専攻修了。1980年建設省入省。都市局街路課街路事業調整官、大分市助役、国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課都市総合事業推進室長、街路交通施設課長などを経て、2011年、国土交通省大臣官房技術審議官（都市局担当）に就任。まちづくり交付金事業（現・社会資本整備総合交付金）の創設、公共交通一体まちづくり、東日本大震災復興まちづくり推進等の都市政策を推進。2009年に北海道大学客員教授に就任、2013年に国土交通省を退官後、現職。

飛行機型のエアマット「ベイビープレイン」を使えば、どこでも簡単に楽しくピクニックが実現できる。

「ピクニックは都市的。
色々な人が持ち寄った創造性を
ラグの上に広げて共有し、
またばらばらに帰っていく。」

Moderator
西村 浩氏

にしむらひろし_建築家・デザイナー。1967年佐賀県生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業。同大学大学院工学系研究科修士課程修了後、設計事務所勤務を経て、1999年㈲ワークヴィジョンズ設立。建築・土木・まちづくり等、常に「まち」を視野において、分野を超えてモノづくりに取り組む。2011年から佐賀市で、「空き地リビング」をコンセプトに地域の居場所をつくる社会実験として、まちなかの空き地に芝生広場を整備し、中古コンテナを連結した雑誌図書館と交流スペースを設置する「わいわい!!コンテナ」プロジェクトを実践。企画・設計・デザインを手がける。主な計画・作品には大分都心南北軸構想、佐賀市街なか再生計画、函館市中心市街地トータルデザイン、岩見沢複合駅舎、鳥羽海辺のプロムナード、長崎水辺の森公園橋梁群など。2009年度グッドデザイン大賞、2010年日本建築学会賞受賞（岩見沢複合駅舎）。

2

Vol.2_9.21(SUN) 13:30-15:00［開場 13:00］

「状況やアクティビティをデザインする」
@国連大学 レセプション・ホール

伊藤香織氏×三浦 展氏×黒﨑輝男氏
東京理科大学准教授　社会デザイン研究者　流石創造集団㈱代表

Moderator
伊藤香織氏

いとうかおり_東京理科大学理工学部建築学科准教授。専門は都市デザイン/都市空間解析。東京生まれ。東京大学大学院修了、博士（工学）。東京大学空間情報科学研究センター助手を経て、東京理科大学専任講師、2008年より現職。主な著書に『シビックプライド：都市のコミュニケーションをデザインする』『まち建築：まちを生かす36のモノづくりコトづくり』など。2008年よりシビックプライド研究会を主宰し、多分野の連携によりシビックプライド（都市に対する市民の誇り）とコミュニケーションデザインの研究、提案を行う。また、クリエイティブユニット『東京ピクニッククラブ』を2002年より共同主宰し、ピクニックを通して公共空間の創造的な利用可能性を探るプロジェクトを国内外の都市で行っている。

»三浦 展氏

みうらあつし_マーケティング・リサーチャー、社会デザイン研究者。㈱カルチャースタディーズ研究所代表取締役。新潟県上越市出身。一橋大学社会学部を卒業後、㈱パルコに入社、86年マーケティング雑誌『アクロス』編集室編集長に就任。90年、三菱総合研究所入社、マーケティングや労働行政等の調査・研究にあたる。99年、独立し、カルチャースタディーズ研究所を設立。消費社会、家族、若者、階層、都市などの研究を踏まえ、新しい時代を予測し、社会デザインを提案している。著書に、80万部のベストセラー『下流社会』のほか、『第四の消費 つながりを生み出す社会』、『データでわかる2030年の日本』、『日本人はこれから何を買うのか?』、『東京は郊外から消えていく!』、『「家族」と「幸福」の戦後史』、『ファスト風土化する日本』、『東京高級住宅地探訪』など多数。渡和由氏と『吉祥寺スタイル』を共著。

»黒﨑輝男氏

くろさきてるお_流石創造集団株式会社代表。1949年東京生まれ。「IDEE」ファウンダー。オリジナル家具の企画販売・国内外のデザイナーのプロデュースを中心に「生活の探求」をテーマに生活文化を広くビジネスとして展開。『東京デザインナーズブロック』『Rプロジェクト』などデザインをとりまく都市の状況をつくる。廃校となった中学校校舎を再生した『世田谷ものづくり学校（IID）』内に、新しい学びの場『スクーリング・パッド／自由大学』を開校。『Farmer's Market@UNU』青山の遊休地を活用したコミュニティ型商業空間『246COMMON』『IKI-BA』『みどり荘』などの『場』を手がけ、新しい価値観で次の来るべき社会を模索しながら起業し続けている。自転車乗りがつくる、年に一度の自転車フェス『PEDAL DAY 2014』をプロデュース。

「プレイスメイキングは魚の住処づくりと同じで
“人間のビオトープ”を形成するもの。
人間も生き物である。」

»鈴木俊治氏

すずきしゅんじ_有限会社ハーツ環境デザイン代表取締役。明治大学理工学部客員教授。1960年東京生まれ。日本での都市・環境計画実務ののち、カリフォルニア大学バークレー校大学院都市地域計画学科修了。同校助手、カルソーブ・アソシエイツを経て2000年有限会社ハーツ環境デザイン設立、現在に至る。全国各地において住民参加型都市デザイン、都市計画、まちづくりに従事。拠点とする東京・神楽坂ではNPO法人粋なまちづくり倶楽部副理事長として活動している。

»三友奈々氏

みともなな_日本大学理工学部助教。筑波大学大学院芸術研究科修了後、筑波大学大学院芸術系助教、神戸芸術工科大学環境・建築デザイン学科助手等を経て現職。専門は環境デザイン学。公共空間（公園・広場・街路等）、公共施設、商店街、商業施設等を対象としたプレイスメイキング（まちなかの居場所づくり）を研究テーマとしている。主な研究対象地はプライアントパーク。研究の成果を活かしたプレイスメイキングの実践として、ハード・ソフト両面を対象としたデザイン実務、デザイン教育を行っている。

［写真上］246COMMONは2012年7月から2014年5月まで開催。
40以上の店舗と100万人以上の方が集まった。
［写真下］Farmer's Marketは国連大学前で毎週土・日開催。

3

Vol.3_10.28(TUE) 18:00-19:30［開場 17:30］

「賑わいや居心地良い空間をデザインする」@吉祥寺グランキオスク

渡 和由氏×鈴木俊治氏×三友奈々氏
筑波大学准教授　ハーツ環境デザイン代表　日本大学助教

プライアントパークは5th Avenueと42nd Streetに囲まれた大芝生。固定されたベンチではなく、自由に持ち運べるイスを利用することができ、自分好みの空間を楽しむことができる。

Moderator
渡 和由氏

わたりかずよし_筑波大学芸術系 環境デザイン領域准教授。1957年群馬県生まれ。82年から6K設計にて科学博や横浜博覧会などの会場計画や公的施設設計を担当。90年に渡米し、日米の計画住宅地や都市のサイトプランニング実務を行う。98年秋に帰国し現職。自治体や病院などと大学の連携による総動的な場のプロデュース、茨城県域TX沿線まちづくりの総合プロデュース、公共の交流施設計画などで、プレイスメイキングの導入を実践。総合的な環境デザイン手法と『好かれ続ける総動的な生活環境』を研究。『ビオトープ』誌に米国のサステイナブルデザイン、他ニューアーバニズムやプレイスメイキングに関する執筆。『吉祥寺スタイル』を三浦展氏と共著。

SYMPOSIUM
プレイスメイキング［シンポジウム］

要申込み
先着300名（予定）
［入場無料］
※レセプションは別

「ヒューマンスケールのデザイン」の
第一人者であるヤン・ゲール氏と、
空間の魅力創造等に携わる
研究者や実務者の方々をお招きして、
「ヒューマンスケールのまちづくり」について
お話をしていただきます。

11.28(FRI) 14:30-19:30［開場 14:00］

「ヒューマンスケールのまちづくり」
@東京大学 伊藤謝恩ホール

第1部_基調講演 14:40-15:20
ヤン・ゲール氏

鼎談 15:20-16:00
ヤン・ゲール氏×北原理雄氏×渡 和由氏

コーヒーブレイク（15分）

第2部_パネルディスカッション 16:15-17:55
松村秀一氏×渡 和由氏×西村 浩氏×伊藤香織氏

第3部_レセプション（交流会）18:10-19:30
参加自由（会費制）

- シンポジウムは無料、レセプションは会費制となっております。
- シンポジウム及びレセプションの申し込みは先着順となっております（定員300名）。

［主催者］ 国土交通省 都市局
http://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_machi_tk_000056.html

［申込み・問合せ］ ㈱日建設計総合研究所（担当：西尾、井上、小林）
nsri_info@nikken.jp
Twitter= #placemakingで検索

Jan GEHL, Professor, Dr.Litt.
ヤン・ゲール氏

1936年生まれ。1960年デンマーク王立芸術大学建築学部卒業。米国、カナダ、メキシコ、オーストラリア、ヨーロッパ各国で研究・教育・実践に携わり、王立芸術大学建築学部教授を経て、現在、ゲール・アーキテクツ主宰。1993年すべた都市計画業績に対して授与される国際建築家連合のパトリック・アバークロンビー賞を受賞。人間のための空間として、公共空間の再生やデザインを行うプロジェクトを多数手がけており、ニューヨークのタイムズスクエア周辺を歩行者、自転車のための空間として再生した事例は特に著名。著書として『建物のあいだのアクティビティ』『人間の街：公共空間のデザイン』『HOW TO STUDY PUBLIC LIFE』など多数。

»北原理雄氏

きたはらとしお_千葉大学名誉教授。1947年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。同大学院修了。名古屋大学助手、三重大学助教授、千葉大学大学院教授を経て、現職。工学博士。人びとの生活と活動の舞台になっている都市環境を、モノとココロの両面でより豊かで魅力的なものにするために、都市空間や景観のあり方とその実現システムを検討している。専門は都市計画、都市デザイン。主な著書・訳書に『都市の個性と市民生活』、『公共空間の活用と賑わいまちづくり』、『生活景』、J.ゲール『人間の街―公共空間のデザイン―』、『建物のあいだのアクティビティ』など多数。

»松村秀一氏

まつむらしゅういち_東京大学大学院教授。1957年生まれ。80年東京大学建築学科卒業。85年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了、工学博士。92年ローマ大学客員教授、95年トレント大学客員教授、東京大学客員教授、大連理工大学客員教授などを経て、2006年より現職。『日本の建築と部品の潜在性能をとき放つ』をテーマに活動する専門家団脳集団、『HEAD研究会』の副理事長を務める。専門は建築構法、建築生産。主な著書に『建築―新しい仕事のかたち―箱の産業から場の産業へ』、『「住宅」という考え方』、『工業化住宅・考』、『団地再生―甦る砂末の集合住宅』など多数。

表面写真＝『人間の街』表紙より　撮影：Lors Gemzøe
裏面写真＝『わいわい!! コンテナ』（佐賀市）の芝生　撮影：西村 浩

ヒューマンスケールの
まちづくり

PLACEMAKING SYMPOSIUM 2014
プレイスメイキング シンポジウム

旅行などで訪れた都市の素敵な景観に、
思わず「わぁ」と歓声をあげたことはありませんか?
行きつけの場所やまちに行くことは、
いつもワクワクしたり、ホッとしたりしませんか?
そのような驚きや、ワクワクしたり、ホッとしたりする
秘密は何でしょうか?

都市空間の魅力の増進として、
賑わいを創出し居心地を良くすることは
「プレイスメイキング」と呼ばれています。
「ヒューマンスケールのデザイン」が
最も基本的な哲学です。

公共空間のリノベーションによる
都市の課題解決。

分野の全く異なる人々が
実は結構同じことを考えていて、
仲間を見つけるような感覚を
その場でもてたことが大変興味深かった。
それこそが都市だと思うし、
このシンポジウムも、いろんな知恵を持ち寄って
つくるような場になればよい。

ギャザリングプレイスとして、
歩道・街路上などのカフェスペースが
クリエイティブ層に
大変好まれる傾向がある。

プレイスメイキングは
パブリックマインドであるが、
補助金への依存ではない。
パブリックマインドが大切であり、
キーワードである。

アクティビティを誘発する、
アイレベル（歩行者の目線の高さ）の
アーバンデザインを。

INFORMATION / お問い合わせ & アクセス

- シンポジウムの申込みは下記までお願いします。（先着300名、入場無料。レセプションは参加自由で会費制。）
- 連続座談会は入場無料、各回とも当日先着順（予約不要、各回30名程度）
- 定員に達した場合は、入場をお断りする場合があります。（なお、定員は予告なく変更する場合があります。）
- 質疑応答の時間は特に設けておりませんが、登壇者から聞いてみたい内容などがございましたら、事前に下記までお寄せください。

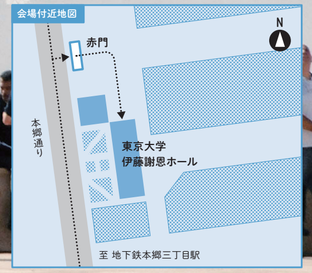
［主催者］ 国土交通省 都市局
http://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_machi_tk_000056.html

［申込み・問合せ］ ㈱日建設計総合研究所（担当：西尾、井上、小林）
nsri_info@nikken.jp
Twitter= #placemakingで検索

SYMPOSIUM［シンポジウム］

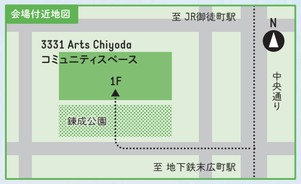
»11.28(FRI) 14:30-19:30［開場 14:00］
東京大学 伊藤謝恩ホール
東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内
赤門から入って直ぐ右側突きあたり

［丸の内線］ 本郷三丁目駅（徒歩8分）
［大江戸線］ 本郷三丁目駅（徒歩6分）
［都バス］ 茶51駒込駅南口又は東43荒川土手操車場前行
東大（赤門前バス停）

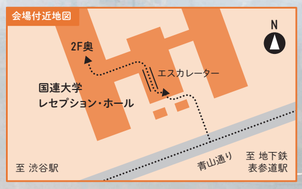
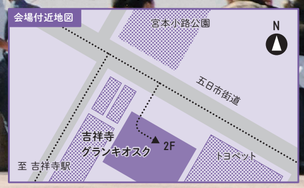


FORUM［連続座談会］

»Vol.1_9.3(WED) 13:30-15:00［開場 13:00］
3331 Arts Chiyoda コミュニティスペース
東京都千代田区外神田6丁目11-14



»Vol.2_9.21(SUN) 13:30-15:00［開場 13:00］
国連大学 レセプション・ホール
東京都渋谷区神宮前5丁目53-70国連大学ビル2F



»Vol.3_10.28(TUE) 18:00-19:30［開場 17:30］
吉祥寺グランキオスク
東京都武蔵野市吉祥寺本町2-33-10 丸二ビル2F